

上田短期大学 教育の基本方針

【教育の基本方針】

本学の建学の精神は、「敬愛・勤勉・聡明」です。建学以来、この基本理念によって、短期大学士の学位を持つ多くの卒業生を社会に送り出してきました。

ここにいう「敬愛」とは、他者への敬意をもって行動できる人であることを意味します。

また、「勤勉」とは、時間を大切にし、目標に向かってこつこつと積み上げることを意味し、実践することです。

そして、「聡明」とは、置かれた環境から深く学び、積み上げてきたものを活かす英知ととらえています。

本学は、以上のような建学の精神を教育の基本方針年、教育活動を行っています。

【教育目的】

教育基本法・学校教育法に従って大学教育を施し、豊かな教養と深い専門知識、そして責任感を具えた堅実中正な社会的人格の育成を目的とします。

この教育目的を達成するために幼児教育学科および総合文化学科の2学科を設置します。

●幼児教育学科は、専門性と実行力をそなえた幼稚園教諭および保育士の養成を主たる目的とします。

●総合文化学科は、地域社会および職場において有用な社会人の育成を目的とします。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

「敬愛・勤勉・聡明」を十分に理解し、実践する姿勢、教育目標の達成を重視し、各学科のディプロマ・ポリシーに基づいて、卒業認定・学位（短期大学士）の授与を行ないます。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）】

教育課程の編成は、次のような方針に従っています。

1. 共通教育科目の学びを通じ、大学生として必要な教養をバランスよく身につけるための編成をします。
2. 専門教育科目は、各学科の専門性を習得するために必要な科目を適切に開設し、学術的な基礎力を育成します。
3. 各学科にふさわしい免許・資格を取得する科目や課程を確保するよう編成します。

【アドミッション・ポリシー（入学者の受入方針）】

本学では、次のような方の入学を求めています。

1. 入学後の修学に必要な高等学校卒業程度の基礎学力を持つ人
2. 他者への敬意をもって行動できる人

3. 学びを通じて、自己の成長を実現したいという強い意欲を持ち、社会貢献する夢を持っている人

【アセスメント・ポリシー】

学修成果の評価の基本方針は、次の3区分で行ないます。

1. 大学全体：入試実施状況・入学後の学生生活アンケート・学位取得状況・進路状況
2. 各学科：入学前アンケート・単位取得状況・成績分布・資格や検定の合格実績
3. 各科目：授業評価アンケート

【学生支援の基本方針】

豊かな教養と深い専門知識、そして責任感を具えた堅実中正な社会的人格の育成を目指し、以下のような学生支援を行ないます。

1. 学生一人ひとりの自己実現をはかるため、相談体制を充実させています。相談先は、ゼミ担任（専任教員）・学生相談員（専任教員）・学生相談室（相談員）・保健室に加え、全教職員で当たります。
2. キャンパスライフの充実のため、自治会活動・サークル活動を積極的に支援し、後援会・同窓会とも連携し、施設・設備の充実に努めています。
3. 卒業後のステージ（就職・進学等）に必要なガイダンス・セミナー等を適期に開催するとともに、個別相談を重ねて、目標達成の支援を行ないます。

【学習成果】

各学科の学習成果に基づいて、以下の学習成果を設定しています。

1. 社会人になるための豊かな教養を身につけている。
2. 各学科の学習成果に基づいた専門知識・能力を身につけている。
3. 身につけた知識・能力を社会の中で実践することができる。